

事業報告書

令和4年度

社会福祉法人 柏寿会
福光園グループホーム

フクちゃんハウス

事業所番号 0370900573

〒 021-0901

一関市真柴字岩ノ沢91-19

TEL 0191-31-2500

FAX 0191-31-2501

1 沿 革

社会福祉法人柏寿会が平成15年度施設整備事業により、利用定員9名・常勤職員9名の体制で事業を開始。施設併設型として、特別養護老人ホーム福光園アネックス・デイサービス・福光園居宅介護支援センター・福光園在宅介護支援センターが併設されている。

2 事業の目的

日常生活を通じて、入居者個々の機能を活かし、その人らしさを引出し、気づきの大切さを共有し、共同生活としての意図を理解しながら安心して暮らせる場の提供を支援する。思いの尊重を生活支援に取り入れ、身体表現へと繋げられるよう支援する。思いやり、感謝、笑顔を大切にし相互の協力者として支援し、家族、地域の方々と共に支え合い、明るい生活の場を築いていく。

3 本年度の事業実施内容

入居者個々の思い、気づきを大切にし、その人らしく生活して頂く為のプロセスを構築すると共に、機能活用から、自信、喜びを身体表現へと繋げる支援と共に、入居者個々の思いから、その人らしさを大切にし安心した生活が送れるよう支援する。又、家族、地域の方々と協力、助け合いから、人と人との繋がり、関係性を大切にすると共に、生活、精神的安定が図れるようケアの提供に努める。

- ・入居者個々の分析とニーズを把握し、個別ケア計画を作成し実施。※毎月評価行っている。
- ・提供したサービスの評価・見直しを実施し今後のサービスへの同意を求めている。※今年度はコロナ禍の為、家族出席見合わせる。
- ・運営推進会議の実施。(2ヶ月毎、年6回実施)※行政、地域、家族、入居者、職員での構成。
→今年度は6回全て書面開催としている。※コロナの状況落ち着かない為。
- ・日々の個人の健康チェック・投薬・通院等による健康管理の実施。
- ・入居者家族への報告・連絡・相談の実施。※体調、ホームからの相談を実施し、情報の共有に繋げている。
- ・毎月(フクちゃんハウスたより)発行にあたり、入居者の生活状況についての報告。
- ・職員会議で入居者個々の現状報告・確認とサービスの質の向上に向けた取り組み方法の実施。
- ・入居者の金銭管理を帳簿にて管理し、各家族への報告。(毎月の帳簿写し、領収証の郵送)
- ・サービス情報の公表制度の実施。(本年度は書類提出のみ)
- ・外部研修参加。ホーム内研修、自己研鑽、委員会研修、職員会議の実施。※質の向上に繋げている。
- ・避難訓練実施。年1回消防署の立ち合い実施。※指摘事項についても職員個々が把握し今後の対応に繋げている。
- ・かかりつけ医への相談実施。
- ・入居者誕生会の実施。 ※ホーム内でお祝いしている。※個別支援(外食は行えず)
- ・敬老会。(※ホームで職員のみで実施)
- ・外部評価実施。※調査員2名来訪される。
- ・新型コロナウイルス感染症に伴う、物品の準備、シミュレーションの実施。※対応困難とならない為にも。
- ・外出出来ない為、入居者個々の特性を活かした個別支援の実施。

→機能訓練等から視野を広げる為の支援。※生活維持に繋げる為。※余暇活動の充実。出来る事への支援強化。

・入居者様の住み替えがある中で第二の我が家という思いで生活して頂いている。その結果安心、楽しいという言葉、笑いの絶えないホームとなるよう支援している。

4 目標に対する評価 (処遇)

- ① 空床を最小限にとどめ、年間稼働率95%以上を目指す。※延べ人数3120名以上。

※ 体調管理の重要性、緊急時の早期発見、対応、入退院を通じて医師、家族との連携、情報を密にする。

※ 退去後、出来るだけ早く入居に繋げる。

→ 今年度3名の入居者の入れ替わりがありました。年々退去者も多くなり特養、他施設への異動であったり、入院後戻る事ができずそのまま退去となりました。GHだけの生活をずっとという考え方ではなく、本人が今後どういう生活場所がいいのかという事も家族様と検討し支援してきました。体調の変化を見逃さず、直ぐに医療に繋げたり職員同士での情報共有を図り今必要な事は何かという事も考え支援してきました。生活に支障をきたす事のないように配慮しながら安心して生活して頂く為に気づきの大切さから些細な事までも気づけるよう高めてきました。退去後の入居についても出来るだけ短期間でという思いはありますが、なかなかそうはいかず居宅支援事業所への協力も頂きながら入居に繋げていく事が今後も必要とされる。年間稼働率97.6%と高い状況で推移され目標達成となりましたが、今後も出来るだけ空床を作らないよう更なる努力が必要とされます。

- ② 「ここに居ると皆がいるから安心出来る」と思って頂ける安心した第二の我が家として生活して頂く。(利用者としての声・・・毎日)

※笑顔、助け合い、不安のない楽しい生活支援。※個別支援(機能維持活動・・・毎日)

→ 昨年同様入居者様の住み替えがありましたが、生活環境にも上手く馴染めており、生活に対する不安は見られていましたが、慣れるまでの時間特に寄り添いながら支援したり、時間をかけながらその思いに迷いが生じないように対応し、入居者様同士の声掛けであったり、安心する言葉掛けで不安除去にも繋がった。職員だけではなく生活している入居者様の声も大きく支え合える環境の大切さから生活出来るようになった。ここでの生活は楽しい、安心出来るとの声も聞かれ、1日を通して楽しく、笑顔の絶えないホームにもなっている。生活の中で出来る事を継続化し機能低下にならないようリハビリを強化し充実出来た。「楽しいよ」との声が働く職員にとっての活力にも繋がりが、元気を頂いている。今後も安心、信頼、笑顔、助け合いを通じて皆で支え合えるホーム作り、環境を提供し第二の我が家として大切にしていこう。

- ③ 出来ないという思いから出来るという思いへシフト化

※共に支え合い、気づきの大切さから視野を広げていく。見える事で自然体に変化が生まれる取り組みの実施。

→ まずはやって見るという事を意識づけしながら対応していましたが、やれば出来るという気持ちに吸い込まれていく現状が見えた。そういう中で、出来るんだねという言葉も出始め、それが生活の一部となり、常に前向きな発想が出るようになりました。

- ③ 感染症予防対策を行う。(物品の確認、補充・・・毎月)(情報共有・・・状況に応じて)(シミュレーションの実施・・・年4回)

→ 感染予防の強化、ゾーニング、基本的な対応等について会議の中で研修を行いました。資料を基に実施。

5 生活目標 (利用者の声)

- 「安心した毎日」「楽しみのある生活」を送る。

□ 今のままで健康で過ごしたい。(利用者の変化を見逃さない)

→ 生活している中で、体調の変化についてはなかなか自分から伝えきれない為、常に状況を確認している。表情から確認しながら本人に対する不安を避け早期発見、対応に繋げてきました。健康で過ごせる事が何よりですとの言葉は聞かれる。

□ 出来る事は頑張る。(思っている事を言える、やりたい事をやれる、個々のペースに合わせて一緒に楽しく、機能維持を)

→ 生活の楽しみから常に手伝うよという声が聞かれている。出来る機能を活用する事でお互いに刺激をしながら生活されている。自分の役割として行っている方もいたり常に自宅にいる感覚で生活されている。やらなければという気持ちにもなり、意欲向上にも繋がっている。

□ 皆といると楽しいよ。(安心出来る環境作り)

→ 生活に慣れる事で自分の姿が見え、生活維持に繋がりが皆との会話、生活に活気が出て来ている。会話の弾みから笑顔も多く、そこから支えるという気持ちにお互いになっている。その光景は入居者様同士で築いたものであり、支援する側としてとても安心出来る環境だと理解出来る。

□ 家族に会いたい。※面会で会える楽しみ。(お互いの報告、連絡、相談、生活状況について)

→ コロナ禍で面会制限が殆どあり、なかなか家族との面会が出来ない状況であった。電話で声を聞く事での安心感も聞かれている。体調変化、通院等においても家族様への報告や、状態についての相談も行ってきました。相互の休養にも努めてきました。

6 ま と め

事業開始19年が経過しました。母体施設・在宅事業所等の御協力のもと、過ごして参りました。

家庭的な環境の中で、入居者一人ひとりの特性、思いをサポートし、出来るだけ本人らしい生活に近い状況で生活支援を行って参りました。

本年度、3名の退去者がありました。長期入院1名、施設入所2名でした。昨年度から引き続き入居者様の入れ替わりが多くありました。待機者が少ない中、入居者様の確保に時間を要する事がありました。空床を出来るだけ作らない為にも、入居者様の体調管理も些細な事でも見逃さずに早期発見、対応に繋げてきました。又、家族、医療との連携も図りながら相談、必要に応じて通院等行ってきました。家族様の思いや、ホームとして最大限出来る所までお世話させて頂いたり、本人にとって不安、負担を与えないよう配慮しながら生活支援を行って参りました。稼働率も退去者が多かったのにも関わらず目標数値は達成しましたが、更なる努力が今後も必要とされる。コロナ禍の中で、まずは入居者様の安全、安心に努めながら生活支援を行い、生活に不安が生じないように出来るだけ思いを共有しながらここでの生活が楽しいと思えるよう工夫、改善しながら支援して来ました。入居者様の声(生活目標)を大切にし第二の我が家のあり方を大切にし日々の生活の中で見え隠れする不安であったり、伝えたい気持ちを上手く言葉として話せる事で、安心に繋げていく支援を提供する事でより一層楽しみが増えてきています。共に支え合いながらの気持ちも強く、声をかけてくれたりとお互いの信頼が入居者様同士で見られています。笑顔も多く、1日が楽しいという思いが機能維持、安定にも繋がりその人らしい生活が見えてきています。ここでの生活は楽しいし皆いるから安心という言葉が我々職員にとってとても暖かみのある言葉で働きがいがあります。話す事での安心感や、伝えたいという気持ちが多く見られ自分の思いとして話してくれたり和生活していく中で、以前とは違う本人の姿、視野が広がるようになりました。共に支える環境が入居者様にとって生活する上で大切な事とされる事から更なる共有が必要とされます。入居者様、家族様が共に安心出来るよう今後も職員のケアに対する意識、知識を高め、第二の我が家として共に支え合いながら、その人らしい生活を大切に支援して参ります。

利用者動向

利用者	性別	年齢	要介護度		入居日	通院	薬費	往診	理容	外出 外泊	面会 者数	退去日	備考
			更新前	更新後									
Y・S	女	85	IV	IV	H. 30 9 28	18	2	10	6		11		
A・C	女	90	II	II	R. 2 12 28	35	2	8	6	2	11		
k・k	女	73	III	III	R. 3 4 25	7	8	2	6	4	13		
T・O	女	76	IV	IV	R. 3 6 27	23		1	6		4		
M・S	女	86	IV	V	R. 3 11 16	41	8	6	5		17		
k・S	女	89	I	IV	R. 3 11 27	33	2	10	6	4	17		
M・S	女	95		II	R. 4 10 3	7	1		3		5		
k・S	女	94		III	R. 4 11 1	19	1	4	2	8	7		
T・S	女	89		I	R. 4 11 20	4	2	3	2	3	4		
M・T	女	83	IV		R. 3 12 28	13		3	3		7	R. 4 9 7	長期入院の為
T・S	女	91	II	IV	R. 3 2 7	18		3	4		4	R. 4 10 26	福光園入所の為
A・S	女	84	IV		R. 2 10 3	12		3	4		4	R. 4 11 14	他施設入所の為
平均		86.3	3.1	3.1		計 230	26	53	53	21	104		

↑↑↑↑↑
※ 職員・家族様が対応した件数

月別利用者人数

	令和4年									令和5年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入居者数	9	9	9	9	9	9	9	10	9	9	9	9	109
延人数	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3285
月人数	250	279	264	279	279	242	272	251	279	279	252	279	3205
稼働率	92.60%	100.00%	97.80%	100.00%	100.00%	90.00%	97.50%	93.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	97.60%

行事報告

年 月 日							行 事 内 容
令和	4	年	4	月	8	日	誕生会
令和	4	年	5	月	8	日	母の日
令和	4	年	5	月	12	日	第1回運営推進会議 ※書面開催
令和	4	年	6	月	6	日	誕生会
令和	4	年	6	月	8	日	誕生会
令和	4	年	6	月	10	日	誕生会
令和	4	年	6	月	21	日	誕生会
令和	4	年	6	月	24	日	避難訓練(昼間想定)、停電時の対応について
令和	4	年	7	月	14	日	第2回運営推進会議 ※書面開催
令和	4	年	7	月	30	日	新型コロナウイルスワクチン接種4回目実施。 ※入居者9名。
令和	4	年	8	月	26	日	夏祭り
令和	4	年	9	月	8	日	第3回運営推進会議 ※書面開催
令和	4	年	9	月	19	日	敬老会 ※ホーム内にて開催
令和	4	年	10	月	27	日	避難訓練(昼間想定)
令和	4	年	11	月	5	日	芋の子会
令和	4	年	11	月	10	日	第4回運営推進会議 ※書面開催
令和	4	年	11	月	11	日	誕生会

年 月 日						行 事 内 容	
令和	4	年	11	月	19	日	新型コロナウイルスワクチン接種5回目実施。 ※入居者7名。
令和	4	年	11	月	23	日	誕生会
令和	4	年	11	月	27	日	新型コロナウイルスワクチン接種5回目実施。 ※入居者1名。
令和	4	年	11	月	30	日	総合避難訓練 消防署、文林商会立ち会いの基実施。
令和	4	年	12	月	10	日	インフルエンザ予防接種 ※入居者9名
令和	4	年	12	月	15	日	誕生会
令和	4	年	12	月	19	日	誕生会
令和	4	年	12	月	20	日	新型コロナウイルスワクチン接種5回目実施。 ※入居者1名。
令和	4	年	12	月	26	日	クリスマス会
令和	5	年	1	月	1	日	お正月
令和	5	年	1	月	8	日	誕生会
令和	5	年	1	月	12	日	第5回運営推進会議 ※書面開催
令和	5	年	1	月	22	日	新年会
令和	5	年	2	月	3	日	節分(恵方巻)
令和	5	年	2	月	14	日	バレンタインデー(おやつ作り)
令和	5	年	3	月	3	日	お雛様
令和	5	年	3	月	9	日	第6回運営推進会議 ※書面開催

職員研修報告

(外 部)

年 月 日	研 修 会 名 等
令和 4 年 12 月 6～8日	令和4年度岩手県介護支援専門員更新研修

資料4

(内部研修)

- 1 柏寿会理念、フクちゃんハウス基本理念、記憶障害によってBPSDが発症する過程、口臭、頭痛の種類について 4/25
- 2 BPSDの予防と治療は、賢者の睡眠、鼻血の止め方について 5/27
- 3 認知症の症状・中核症状と行動・心理症状便秘が引き起こす症状、新型コロナウイルス感染症について 6/24
- 4 行動・心理症状、心不全、倫理規程、コロナ感染について 7/26
- 5 記憶障害、サルコペニア、認知症GHの倫理綱領、GHにおける法令遵守、心の疲れをとる術について 8/26
- 6 高齢者虐待防止法、認知症ケアの原則、視覚機能について 9/25
- 7 誰にでも出来る会話のテクニック、行動・心理症状、内出血しやすい原因について 10/25
- 8 認知機能障害、糖尿病網膜症、コロナ感染第8波について 11/24
- 9 認知症の行動、心理症状、新型栄養失調について 12/26
- 10 かくれ脱水、錯覚は誰にも出現する、日々のストレスから身を守る為にはについて 1/25
- 11 乾燥・痒み、ピロリ菌、コロナ感染症今後について 2/24
- 12 認知症介護特有の問題点、ビフィズス菌について 3/26

(内 部)

グループホーム内において以下のような勉強会を行っている

◎ 各マニュアル一覧の見直しについて

- | | |
|-------------|------------------|
| ・ 食事マニュアル | ・ 感染症マニュアル |
| ・ 排泄マニュアル | ・ 事故発生・再発防止マニュアル |
| ・ 禁句マニュアル | ・ 接遇マニュアル |
| ・ 食中毒マニュアル | ・ 緊急マニュアル |
| ・ 口腔ケアマニュアル | ・ 災害マニュアル |

◎ 身体拘束廃止委員会 年4回研修、委員会年5回実施。

◎ ケアカンファレンス実施(家族様を交えて行っていたが今年度はコロナ禍の為実施せず) ※個別には実施している。

◎ ケアプラン個人月別評価について(毎月職員会議時実施)

◎ 認知症ケアに関わる勉強会(職員会議時資料を基に実施)

◎ 研修委員会研修(2回実施)

◎ 保健委員会研修(4回実施)

◎ 保健委員会として年2回カロリー計算実施し法人栄養士より指導、助言頂いている。

◎ 自己研鑽(毎月) ※職員会議を利用し実施。※資料は家族様へも提供している。

◎ 新型コロナウイルス感染症シミュレーション ※ゾーニングの仕方、対応等について

(訪問)

1 外部評価調査員2名 8/23

(法人内研修、会議)

1 苦情解決委員会 5/25、12/16、3/14(書面のみ)

